火山調査研究推進本部に関する機動的な調査観測の実施体制

巨大地変災害研究領域　火山研究推進センター

Point

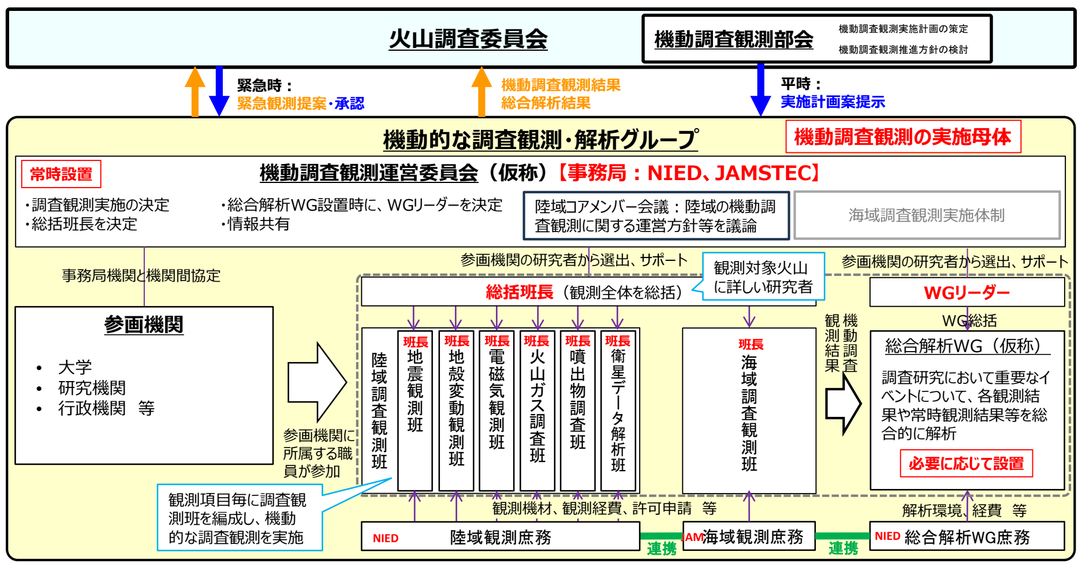
■全国の大学、研究機関等の研究者で協力し、機動的な火山調査観測を実施
■稠密化、多項目化により常時観測網を補完し、詳細な火山活動情報を取得
■火山調査研究推進本部で位置付けれた機動的な調査観測・解析グループを構築

概要

火山に関する観測、測量、調査及び研究を一元的に推進する司令塔として、火山調査研究推進本部（以下、火山本部）が政府の特別な機関として文部科学省に設置された（令和6年4月1日）。火山本部の火山調査委員会においては、それらの成果を収集、整理、分析して総合的な評価を行い、その評価結果は活動火山対策の強化に活用される。その総合的な評価を高度に行うためには、関係行政機関や研究機関等が運用する基盤観測網を稠密化もしくは多項目化により補完する機動的調査観測が必要と整理され、その実施主体として、機動的調査観測・解析グループ（以下、機動観測グループ）が設立されることとなった。防災科学技術研究所は、機動観測グループの陸域の調査観測実施体制を支える事務局を担うこととなり、全国の大学、研究機関等の研究者が参加する体制の構築を進めているところである。

機動観測グループにおける陸域の調査観測は、地震観測、地殻変動観測、電磁気観測、火山ガス調査、噴出物調査、衛星データ解析を実施する班を設定し、機動観測グループ参加者は参加可能な班に所属し、それぞれの班をとりまとめる調査観測班長の指揮によって調査観測を実施する。さらに、観測対象火山をよく知る研究者を総括班長とし、全体の指揮を行う。

機動観測グループにおける中長期的な機動調査観測は、火山調査委員会が策定する調査研究方策に基づいて、火山調査委員会の下に設置された機動調査観測部会で具体的な実施計画を立て、その実施計画に基づいて実施する。一方、火山活動の急激な活発化が生じた場合には、機動観測グループの中で観測対象の火山に詳しい研究者を中心に議論を進め、実施計画を緊急に取りまとめて火山調査委員会の委員長に提案し、承認をうけることによって、緊急的な機動調査観測を実施する。その他の総合的な評価に必要となる機動調査観測の実施については、現在検討をすすめているところである。



機動的な調査観測・観測グループの実施体制（案）

今後の展望・方向性

機動観測グループの陸域に関する調査観測実施体制については、総括班長、調査観測班長を決定し、おおよその体制が整えられたところである。今後、総括班長、調査観測班長とともに、機動観測グループの運営方針等について検討を進め、その後、全国の大学や研究機関等の研究者に広く参加を募集する予定である。

このような調査観測実施体制により、火山本部設置前では観測困難であった、詳細な火山活動情報を取得し、詳細な総合的な評価およびその高度化を目指したい。

謝辞：機動観測グループの体制構築は、総括班長候補、調査観測班長候補、防災科研担当者に協力をいただいて進めている。

生きる、を支える科学技術
防災科研
NIED
国立研究開発法人　防災科学技術研究所
〒305-0006　茨城県つくば市天王台3-1　Tel 029-851-1611　Fax 029-851-1622
https://www.bosai.go.jp